

「卒業」に寄せて・・・

明日3月15日、168人が本校を卒業します。小学校6年間の課程を修了するにあたりお祝いの気持ちと寂しさが交差する日々を過ごしているところですが、月曜日の予行練習時も胸が熱くなるシーンが何度となくありました。本番さながらの進行に緊張感漂うなか、壇上での卒業証書授与においては、一人として目をそらすことなく、まっすぐ前を向いて頷きながら卒業証書を手に素敵な表情を見せてくれました。「お別れの言葉」では、欠席者のフォローも素晴らしく、ともに育ってきた6年間の学びの成果が伝わってきました。「卒業証書授与式」という小学校最後の授業で子どもたち一人一人が実力発揮してくれることを願います。

当日は在校生代表として、6年生から英田北小学校リーダーとしてのバトンを引き継ぐ5年生が出席します。式においては、6年生入場時のリコーダー演奏と「お別れの言葉」のなかで、「送る言葉」と歌「たんぼぼのバッジ」でお祝いしてくれます。

168人の卒業証書授与に要する時間は1時間近くとなりますが、1年後の自分を考えながら姿勢を保ち真剣に授与を見つめる姿は頼もしい限りです。

このたび、東大阪市広報広聴室広報課より、「卒業証書授与式」に関わる取材協力の依頼がありました。撮影された「卒業証書授与式」の様子は編集の後、東大阪市広報番組において、放映される予定です。本取材は、本市52小学校を代表するものであり、本校がこの地に設立され120年を迎えた今、たいへん名誉あることと存じます。

※放映日は、3月21日（水・祝）12：00～ 《市広報「虹色ネットワーク」》

2月のある日、中庭の桜の木の枝が伸び、子どもの顔の高さにまで垂れ下がり、やむなく枝を落としたのですが、今まで生きていた枝の「いのち」を何とか繋げたいと思い、校務員さんに魔法(?)をかけてもらった後、校長室の窓際に花瓶を置き、枝をさしていたところ、約2週間後、芽が吹き出しました。厳しい寒さだった今年の冬—その芽のみずみずしさと美しさに私は胸が高鳴り、一番に子どもたちに知らせたいと、児童集会で「校長先生の嬉しかったこと」としてお話をしました。

・・・頑張っている英田北小学校のみんなから伝わってくる元気と何とか命を繋げてほしいと願う気持ちが、桜の木に「いのち」を吹き込んだ・・・と。

そして、去る3月7日の「6年生を送る会」で私は子どもたちに次のような話をしました。

・・・この頃、英田北小学校の人から、よく「魔法の木」はどこ？と聞かれることが多くなりました。覚えていますか？中庭の桜の木のお話です。今日は、ここに持ってきました。この木は、たくさんある英田北小学校の桜の中で、いつも一番最後に咲く桜の木の枝です。皆さんに紹介してからも、すくすくと育ち、こんなに綺麗な花を咲かせてくれました。まるで、6年生に「卒業おめでとう」と一緒に過ごした6年間を思い出しながらお祝いしてくれているように、思えてなりません。今回、桜の枝の命がつながったように、これから、英田北小学校の命を、6年生から5年生までの皆さんに絶えることなくつないでいけるように、一人ひとり、今できることを考えて皆が幸せに過ごせるようにがんばってほしいと思います。・・・

以後、桜の枝は「校長室」前に活けてあります。校長室にいると子どもたちの声が聞こえてきます。「わーっ、いっぱい咲いてきた。がんばって！！」「すごいなあ！！」「わたしも、今日がんばるわ！！」等、数えきれません。

平成29年度も残すところ僅かとなりました。「一人ひとりの子どもに豊かな心を育て、体力の向上を図り、確かな学力と生きる力を育む。」を本校教育目標としてこの1年、教職員一丸となって努めてまいりましたが、本校の子どもたちが綺麗な桜の花を見たときに、素直に「きれいだなあ」と言える、心豊かな「ひと」に育てられることを願ってやみません。

あらためて、

「英田北小学校」保護者の皆様、今年度も本校教育活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

明日168人が巣立っていきますが、私たちはいつまでも「英田北小学校」でともに過ごした「英田北ファミリー」として応援し続けたいと思っています。そして今後も、皆様とともに、より輝く「英田北小学校」を創っていきたくと存じますので、どうぞよろしく願いいたします。

裏面に2学期に実施いたしました「学校教育自己診断」保護者アンケート結果を掲載いたしました。ご覧ください。貴重なご意見を真摯に受け止め邁進してまいります。